Q 高校の数は増えている？ 減っている？

A 昭和63年度、平成元年度の341校をピークとして高校の数は減っています。

現在の学校数は271校（公立220校、私立51校）※ です。
高校の数が最も多かったのは今から37年ほど前の
昭和63年度、平成元年度の341校でした。
生徒数は今から60年ほど前の昭和41年の約28万人が
ピークで、現在は約10万人です。

※全日制と定時制の合計数（令和6年度学校基本調査より）

Q どこの高校でも、同じことを学ぶの？

A 全日制課程、定時制課程、通信制課程の3種類があり、高校ごとに特色のある教育を行っています。

高校には、学ぶ時間帯やスタイルに合わせて、全日制課程、定時制課程、通信制課程の3種類があります。
また、学科には大きく分けて普通教育をメインとする学科（普通科と呼ばれています）、
専門教育をメインとする学科（専門学科）、自分で科目を選んで学習できる総合学科の
3種類に分けることができます。専門学科には、農業を学ぶ農業科、機械や電気を学ぶ工業科、
簿記やコンピュータ操作を学ぶ商業科など、いろいろな学科があります。

全日制課程

平日の昼間に学習する課程です。
定時制課程や通信制課程に比べて、
多くの学科があります。学ぶ期間は3年です。

定時制課程

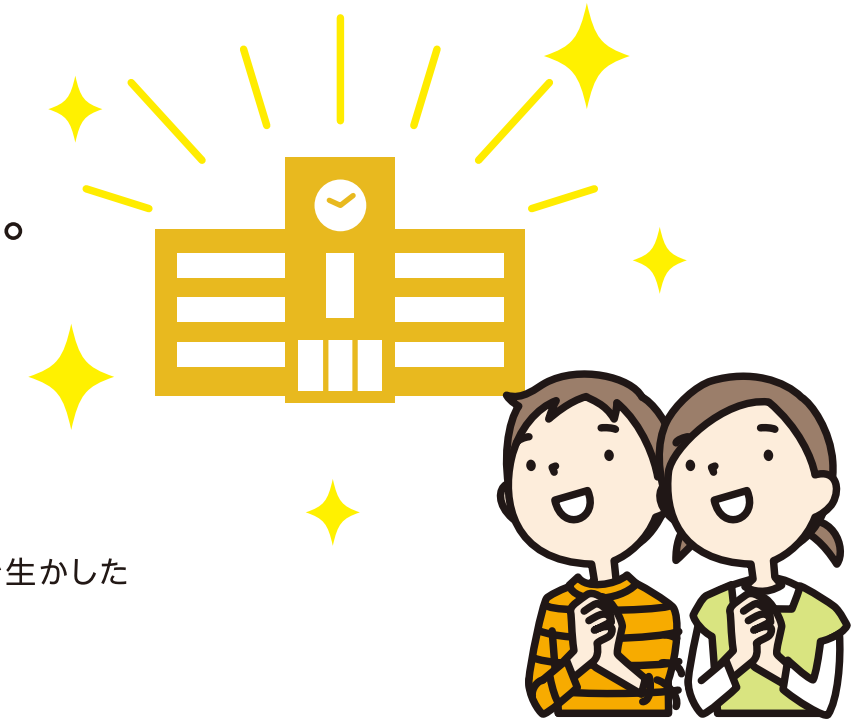
夜間やその他の特別な時間などに
学習する課程です。
学ぶ期間は3年以上です。

通信制課程

自宅での学習が中心となる課程で、
学ぶ期間は3年以上です。

Q 北海道教育委員会では、どんな高校づくりに取り組んでいるの？

A 生徒の学びたい意欲や地域の希望を聞きながら、特色や魅力のある高校づくりを目指しています。



北海道教育委員会では、社会の変化や生徒のさまざまな学習ニーズなどに対応するため、学校や地域の実情に合わせて学校を選べるよう、学校や学科がどこにあるかなどをよく考え、地域の人の希望も聞きながら、いろいろなタイプの高校やその地域ならではの良さを生かした特色や魅力のある高校づくりを目指しています。

Q こどもの意見は反映されるの？

A これから高校を選ぶみなさんの希望や意見は今後の高校づくりにとても役立ちます。

中学校を卒業する人が減ることで、
北海道全体で小さい高校が増えたり（小規模校化）、
国が進める高校の勉強のやり方の変化に対応したりと、
高校の周りの状況が大きく変わっています。
こうしたなか、みなさんが高校を選ぶときに大切にすること、
高校で取り組みたいことを知ることは、
今後のさまざまなタイプの高校を新しく考えるときの参考になります。
そのためにみなさんの意見を聞きたいと考えています。

みなさんに聞きたいこと

Q1

高校を選ぶ際、どのようなことを
重視しましたか?

Q2

高校生活を通して、どのような力を
身に付けたいですか?